

東京交通会館名店会×東京都立総合芸術高等学校 連携事業 「トッコちゃん」ノベルティグッズ制作プロジェクト

9月28日、講堂での2年次学年集会の後、連携事業についてアナウンス。その日のうちに14人の2年生が校長室に集まってくれました。平林校長から、生徒たちに連携事業の概要を説明。東京交通会館のゆるキャラ「トッコちゃん」をもっと広く知ってもらうために、総芸の生徒に、高校生の感性でノベルティのデザインをしてほしいという依頼です。

ノベルティの具体的な内容は、クリスマスに東京交通会館の名店街に飾り付けるフラッグ、年始にお客様や取引先先に配る卓上カレンダー、同様のティッシュ。これらに使われているトッコちゃんを生徒たちが自由にデザインするという企画です。しかし、時間は非常にタイトで、10月末にはデザイン画を納品しなければなりません。それでも、最終的に12人の生徒がこの企画に関わってくれることになりました。

10月4日(金)に、生徒たちがデザイン案を持って東京交通会館を訪問し、東京交通会館関係者の方々、ノベルティの印刷を担当する会社の方、東京都教育庁の関係者の方々に、自分のデザイン案を見せながら、デザインのコンセプトを説明しました。プレゼンを踏まえて、その場で4人のデザイン案が選ばれました。大小同じデザインを予定していたクリスマスフラッグは、生徒のデザイン案が素晴らしいので、大小で別のデザインの旗をつくることになりました。クリスマスフラッグ(大)を大塚まひるさん、クリスマスフラッグ(小)を植村もえさん、卓上カレンダー表紙・各頁イラストを赤津昂歩さん、ティッシュ内紙を後藤夏梨さん、とそれぞれ決めました。しかしながら、デザイン案が選ばれなかった生徒も含めた12人で一つの総芸生徒チームとして、実際にノベルティグッズが完成して東京交通会館で利用されるところを見届けるまで、この企画に携わっていきたいと考えています。12人の生徒にとって、学外の大人と直接やりとりしながら制作をしていく一連の経験が、それぞれに自身の学びと気づきを得る機会になってくれることを願っています。

○9月28日、校長室にて連携事業の説明の様子



○10月8日 東京交通会館でのプレゼンの様子

